令和7年度　インフラメンテナンス市区町村長会議　中部ブロック

日時：令和８年1月29日（木） 13:30-15:30
場所：イオンモール豊川　イオンホール

インフラメンテナンス国民会議

中部フォーラムの取組紹介



中部フォーラム事務局

インフラメンテナンスの重要性（老朽化する社会資本ストック）

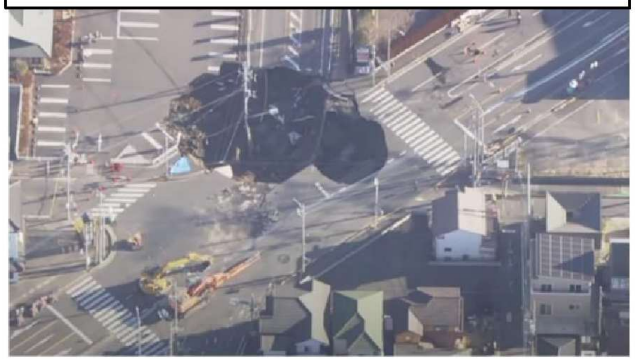
笹子トンネルの事故を契機に、国、地方自治体等の全分野にわたるインフラ長寿命化の計画体系を構築し、各インフラ管理者における取組を推進。
ほぼ全ての管理者において個別施設計画を策定し、点検・診断、修繕・更新等の対策を進めている

（国土交通省「インフラの老朽化対策について」令和7年4月11日）より

しかし…ちょうど1年前。
埼玉県八潮市の県道において道路陥没が発生し、トラック運転手が車両ごと落下。

■発生日時：令和7年1月28日（火）午前10時頃
■発生場所：八潮市中央一丁目地内
■陥没規模：幅約40m、深さ最大約15m（1月31日）
■下水道管：管径4.75m、昭和58年（1983年）整備（経過年数42年）令和3年度の調査時には、補修が必要な腐食は確認されず

1月31日(金)拡大後、スロープ整備着手前



「インフラメンテナンス国民会議」の組織体制

組織体制

総　会

■ 会長
冨山 和彦
株式会社IGPIグループ会長
株式会社日本共創プラットフォーム代表取締役社長

■ 副会長
家田 仁
政策研究大学院大学 特別教授

【目 的】
- 首長同士の意見交換による知見や意識の向上
- トップダウンによるインフラメンテナンスの強力な推進
- 社会に対するインフランテナンスの必要性の啓発

（R7.4.1時点）
1,197の首長が参画
<参画率約７割！>
（R4.4.28設立時点：694）

実行委員会
国民会議全体の運営

企画部会
企画等

広報部会
インフラメンテナンスの理念普及、国民会議の広報

インフラメンテナンス市区町村長会議
〈代表幹事〉東京都稲城市長

北海道ブロック	東北ブロック	関東ブロック	北陸ブロック	中部ブロック
ブロック幹事	ブロック幹事	ブロック幹事	ブロック幹事	ブロック幹事
北海道網走市長	岩手県宮古市長	東京都稲城市長	富山県氷見市長	愛知県豊川市長

近畿ブロック	中国ブロック	四国ブロック	九州・沖縄ブロック
ブロック幹事	ブロック幹事	ブロック幹事	ブロック幹事
兵庫県養父市長	岡山県総社市長	高知県須崎市長	長崎県長崎市長

連携

土木学会

支援・連携

公認フォーラム

革新的技術
オープンイノベーションによる異業種の連携や技術の融合、マッチング

自治体支援
地方公共団体の課題解決、地方公共団体のニーズ・民間企業等のノウハウの情報交換

技術者育成
地域における技術者育成の活動を支援

市民参画
インフラやメンテナンスへの関わりを深めるための実践活動を展開

海外市場展開
海外への情報発信や海外展開案件形成

地方フォーラム
地方自治体(ニーズ)と民間(シーズ)のマッチング等を行うため、地方フォーラムを展開(全国10ブロック)。平成30年度より取組開始。

北海道フォーラム	東北フォーラム	関東フォーラム	北陸インフラメンテナンスフォーラム	中部フォーラム
フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー
高野 伸栄	石川 雅美	長山 智則	丸山 久一	原田 和樹
北海道大学大学院	東北学院大学	東京大学	長岡技術科学大学	日本工営都市空間(株)

近畿本部フォーラム	「ちゅうごく」	四国地方フォーラム	九州フォーラム	沖縄フォーラム
フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー	フォーラムリーダー
片岡 信之	藤井 堅	矢田部 龍一	日野 伸一	有住 康則
(一社)国土政策研究会	広島大学	愛媛大学	久留米工業大学	琉球大学

参画・情報共有

会　　員

中部フォーラムの主な活動

中部フォーラムは、H30.1.26に発足し、民間企業（12社）で中部地方のインフラメンテナンスの自治体支援のために、ボランティアで活動しています。

中部フォーラムの主な活動

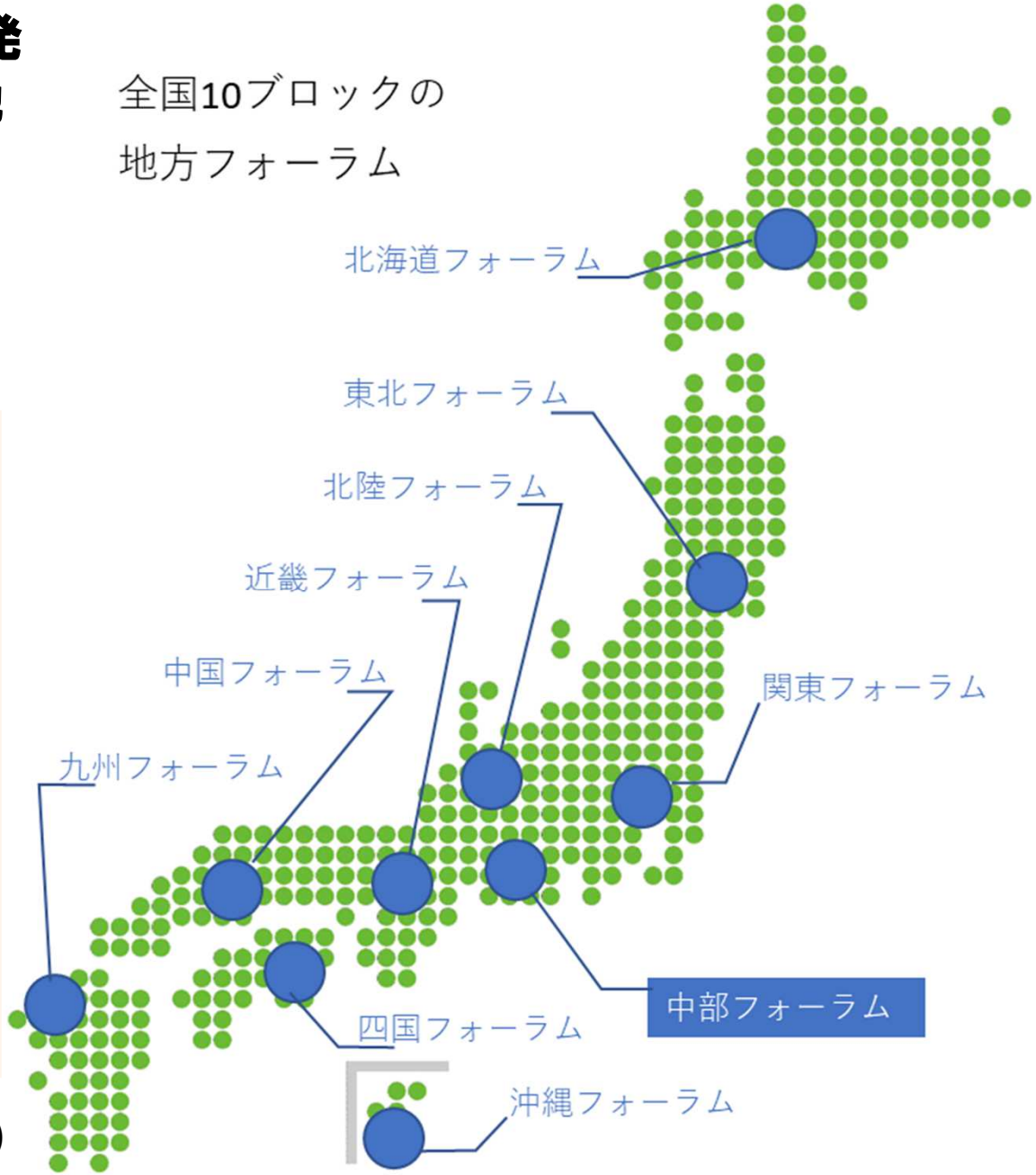
① インフラメンテナンスの実情・課題の把握と共有

② 自治体支援

③ 市民協働の促進、産官学民の連携

④ 現場ニーズと技術シーズのマッチング支援

※国民会議会員：全体3320(R8.1/3時点)
（行政、企業、団体、個人）



中部フォーラム事務局体制表

1	(株)エイト日本技術開発	
2	(株)オリエンタルコンサルタンツ	
3	大日コンサルタント(株)	渉外担当
4	中央コンサルタンツ(株)	
5	(株)テイコク	
6	東亜道路工業(株)	
7	戸田建設(株)	渉外担当
8	ニチレキ(株)	
9	日本工営(株)	
10	日本工営都市空間(株)	リーダー
11	ホーメックス(株)	
12	八千代エンジニヤリング(株)	

※メンター：中村光教授（名古屋大学）、沢田和秀教授（岐阜大学）

自治体支援第２フェーズに向けた軌跡

活動軌跡（仕組つくり、魅力つくり）

少し停滞気味。何故？

STEP4（第２フェーズ）

群マネ試行に向けたアクション

↑

自治体ファンの獲得

↑

中部地域への浸透・理解の促進

↑

群マネ自治体セミナー（25.1.31）（建コンとコラボ）

STEP3

意見交換会、勉強会、見学会、現場実習(補修DIY)などの継続支援

STEP2

個別自治体とシーズ×ニーズのマッチングの調整（次のフェーズへ）

STEP1

オンラインで複数の自治体と維持管理に関する意見交換会(整備局より募集)

【開催報告】インフラの包括的な維持管理に関する自治体支援セミナー ～地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の普及に向けて～

■日　時：2025 年1 月31 日（金）（13:00-16:30）
■場　所：桜華会館会議室 梅の間（名古屋市内）
■参加者：自治体職員の皆様、国民会議会員の皆様
・約450名（対面70+WEB380ライセンス）
・内、自治体職員約40名

共催：ｲﾝﾌﾗﾒﾝﾃﾅﾝｽ国民会議中部ﾌｫｰﾗﾑ
同　市区町村長会議中部ﾌﾞﾛｯｸ会議
建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ協会本部AM専門委員会
建設ｺﾝｻﾙﾀﾝﾂ協会中部支部
後援：中部地方整備局

■開催概要：中部フォーラムでは、包括的民間委託への興味が全国的に深まる中、この度、建設コンサルタンツ協会、市区町村長会議と共同で、インフラ維持管理の新しいフェーズに向けた"群マネ"普及セミナーを開催しました。セミナーは対面+WEBで開催し、約450名の多くの方々にご参加を頂いています。特に今回は、自治体×民間の共同開催となっており、産官が連携した新しい試み（マッチング）と言う意味でも特色があると思います。また、遠方から会場参加頂いた自治体職員の方もおられ、群マネへの関心の高さを実感できました。

■プログラム（発表テーマ）
- インフラメンテナンス国民会議中部フォーラムの取組（中部Ｆ鈴木氏）
- 建設コンサルタンツ協会アセットマネジメント専門委員会からの研究報告（建コン土井氏）
- 社会資本の老朽化の現状と維持管理の必要性（建コン水野氏）
- 中部地域での包括的民間委託の先行事例（明和町西尾氏）
- パネルディスカッション
  - ・ファシ：岐阜大学沢田先生、
  - ・パネリスト：建コン水野氏、明和町西尾氏、恵那市中村氏、市区町村長会議中部ブロック会議幹事大野町河野氏







愛知工業大学　出前講座
「施設維持管理論 インフラ施設の維持管理と実務」

■日　時：令和7年12月9日(火)　13：00～14：30
■場　所：愛知工業大学　1号館501号室
■参加者：102名(大学３年生)土木工学専攻・防災土木工学専攻

<プログラム>
・インフラメンテナンス国民会議 中部フォーラムについて
・土木業界説明（①建設コンサルタント、②総合建設業、③道路舗装業）
・施設維持管理、実務の事例紹介（①調査・設計編、②土木工事編、③舗装編）
・質疑応答

愛知工業大学工学部社会基盤学科3年生を対象に、授業の１コマを頂き、表題の出前講座を実施。講義では、インフラ施設の維持管理の現状、土木構造物や舗装の点検、補修設計などの実務について説明。また、建設コンサルタント、総合建設業、道路舗装業界の説明も併せて実施し、多くの学生から「実務への理解が深まった」との評価を得て、インフラ維持管理事業の理解と普及に向け貢献することができた。





講義風景

守り抜いてきた伝統の橋を未来に繋ごう～プロジェクト1184～　開催報告

日　時：令和7年11月5日(水) 9:15～11:40　　場　所：岐阜県加茂郡七宗町内
参加者：神渕小学校の5,6年生16名　七宗町役場、丸ス産業㈱（技術指導）、中部F事務局
後　援：中部地方整備局、東海コンクリート診断士会、岐阜県構造物強靭化技術協会

■ 開催の経緯
- インフラを維持管理していくための予算や人の確保が厳しい環境にある中、地域住民を交えたメンテナンスの仕組みづくりをしていきたいという町の想いを形にしたい（昨年度からの継続イベント）

■ 開催目標
- 子供たちに、橋梁の塗装塗替え作業を通じて土木について学んでほしい
- これを機に、児童の親や地元の方々がインフラに興味を持ってほしい
- さらに、自分たちの手で補修することで、地元のインフラに愛着を持ってほしい



■ 座学（9:20～10:00）
- 手始めクイズ（七宗町の橋の現状）
- 土木ってなに？
- 七宗町のいま（クイズの答え合わせ）
- 橋のなおし方（定期的な維持管理の重要性）

・児童のほか、先生もクイズにチャレンジ！
・全問不正解の大人も・・・
・あたりまえの生活をするには、インフラの維持管理がとても重要







■ 塗装塗替(10:20～11:40)
- 役場にほど近い飯高橋へ移動
- 塗装色は七宗町のシンボルカラー（青緑色）
- 施工業者さんが上手なペンキの塗り方を伝授
- 1スパン/人の役割分担
- 上級生だけあって、大人顔負けの塗装技術

・4人1班のチーム戦だったが、保護具を着用すると誰が誰だか・・・
・教育長をはじめ、近隣の住民や新聞社が訪れた
・優勝チームには、後日表彰状が授与された















これまでの七宗町との取組が表彰されました！

■第9回インフラメンテナンス大賞（優秀賞）
・受賞者：岐阜県加茂郡七宗町
・構成員：七宗町役場　建設課　朝日信幸、牧園吉晃、鍵谷勇人
　　インフラメンテナンス国民会議中部フォーラム、ほか
・表彰式
　日時：令和８年1月21日（水）14:00～15:00
　場所：中央合同庁舎３号館（国土交通省）10階共用会議室（予定）

※1月中旬に国土交通省ＨＰにて報道発表されます。

■令和7年度手づくり郷土（ふるさと）賞（国土交通大臣表彰）
・応募者：七宗町 建設課
（本件は、中部地方整備局管内からの唯一の受賞になります）

インフラメンテナンス大賞

インフラメンテナンス大賞は、日本国内のインフラのメンテナンスに係る優れた取組や技術開発を表彰し、ベストプラクティスとして広く紹介することにより、我が国のインフラメンテナンスに関わる事業者、団体、研究者等の取組を促進し、メンテナンス産業の活性化を図るとともに、インフラメンテナンスの理念の普及を図ることを目的に、平成２８年度より実施するものです。

国土交通省、総務省、文部科学省、厚生労働省、農林水産省、経済産業省、環境省、防衛省が所管する施設について、以下の各部門における優れた取組や技術開発を行った方に対して、有識者による審査を経て、内閣総理大臣賞、各省大臣賞、特別賞、優秀賞を決定します。第７回（令和５年度）より内閣総理大臣省及び環境大臣賞が創設されました。

応募部門 について

ア　メンテナンス実施現場における工夫部門：施設管理者が管理するインフラについて、当該施設管理者自ら又は委任、委託等を受けた企業、団体等が行うメンテナンス活動における工夫（ウに該当するものを除く）

イ　メンテナンスを支える活動部門：アの取組以外で、市民活動や人材育成等のインフラ機能の維持に貢献するために行う活動（ウに該当するものを除く）

ウ　技術開発部門：インフラメンテナンスを効果的・効率的に改善する研究・技術開発

「手づくり郷土（ふるさと）賞」とは

日本の各地で、地域特有の自然や歴史、伝統、文化や地場産業等を貴重な地域資源として見直し積極的に利活用した、魅力ある地域づくりの事例が数多く生まれています。
「手づくり郷土賞」は、このような地域活動によって地域の魅力や個性を生み出している良質な社会資本とそれに関わった団体のご努力を表彰するものです。また、これらの好事例を広く紹介することで、各地で個性的で魅力ある郷土づくりに向けた取組が一層推進されることを目指しています。
「手づくり郷土賞」は昭和61年度に創設され、35年以上続いている国土交通大臣表彰です。

「手づくり郷土（ふるさと）賞」の選定対象

手づくり郷土賞（一般部門）

選定対象　地域の魅力や個性を創出している、社会資本及びそれと関わりのある地域活動が一体となった成果

選考のポイント

1. 社会資本の整備・維持管理・利活用にあたっての創意・工夫
   （地域特性を踏まえた整備・維持管理上の工夫、地域資源としての活用・育成 等）
2. 地域活動における創意・工夫、取組の独創性
   （新しい発想、住民自ら考え工夫を凝らした取組 等）
3. 地域づくりへの成果及び波及効果
   （地域への思いに富んだ取組、地域づくりの枠を越えた効果 等）
4. 今後の活動の継続性・発展性
   （住民が長く活動を続けられる仕組み、周囲を広く巻き込む工夫 等）
5. 他の参考となるような先進性・先導性
6. その他（上記以外の特に優れた内容）

群マネ（第2フェーズ）に向けた取組

■各地域の将来像に基づき、複数・広域・多分野のインフラを「群」として捉え、 総合的かつ多角的な視点から、戦略的に地域のインフラをマネジメントすることが必要である。

※国土交通省「今後のメンテナンスのあり方に関する提言」2022年資料より抜粋

『地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）』を推進

しかし、これまで群マネに関する様々な取組を試行するも、一過性のイベントとなり、その後の継続性に課題あり。

→・自治体ニーズとのミスマッチが原因？
・群マネに対する理解不足？（魅力不足？）
・トップダウンが必要？（組織の合意が必要？）

そこで…お願い。（次頁）

今後の取組

■群マネの実施に向けて（2026.10月頃にイベントを予定）
（お願い）本会議に参加頂いている（賛同いただける）自治体様宛に、
① アンケートを配布し、群マネに対する現場のニーズを把握。
② アンケートの結果や、国内のこれまでの事例を参考に、地域特性に即した群マネの在り方を意見交換会で議論（イベントに参加頂く）
③ 意見交換会を受け、今後の取組について組織として検討頂く（組織としてコミットメント）
④ 検討結果を基に、次ステップに向けて中部Ｆと協議（継続連携）。

■広報・普及活動の継続・拡大に向けて
・大学（名城大、愛工大）出前講座の継続、拡大
・自治体の個別支援の継続（七宗町ほか）
・これまでの取組を土木学会（第80回年次学術講演会）に投稿（予定）

引続きのご支援をお願いします！

ご清聴ありがとうございました。

中部フォーラムのこれまでの取組

会議名	実施日	場所	テーマ
第1回	2018/2/21	名古屋	中部におけるインフラメンテナンスの展開と展望
第2回	2018/7/23	名古屋	インフラ維持管理の課題と包括的民間委託
第3回	2018/10/25	静岡	インフラ維持管理の効率的な知恵と工夫
第4回	2019/2/19	名古屋	持続可能な維持管理の自治体ニーズの深堀
第5回	2019/10/17	名古屋	現場ニーズと技術シースのマッチングイベント
第6回	2019/10/30	静岡	インフラメンテナンス時代をサバイブする「公響事業」
第7回	2020/2/12	名古屋	未来にもあたりまえのインフラを！
第8回	2020/11/15	静岡	インフラメンテナンス技術講習会
第9回	2021/6/8	名古屋	橋梁の維持管理と実務
第10回	2021/11/2	名古屋	小規模コンクリート橋の維持管理に関する自治体支援

中部フォーラムのこれまでの取組

会議名	実施日	場所	テーマ
第11回	2022/6/7	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第12回	2022/11/16	七宗町	インフラ点検補修DIY現場実習
第13回	2022/12/9	愛工大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第14回	2022/7月～12月	鈴鹿市	新技術を踏まえた橋梁長寿命化修繕計画の改定支援
第15回	2023/2/14	田原市	インフラ点検補修DIY現場実習
第16回	2023/5/30	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第17回	2023/10/19	鈴鹿市	橋梁点検支援技術の現場実証試験
第18回	2023/10/23	七宗町	既存不適格橋梁について考える
第19回	2023/10/31	愛工大	大学講座／施設維持管理論 「インフラ施設の維持管理と実務」
第20回	2023/12/1	大野町	インフラメンテナンス市区町村長会議中部ブロック会議 （コラボイベント）
第21回	2024/2/6	名古屋	中部フォーラムR5年度活動報告会

中部フォーラムのこれまでの取組

会議名	実施日	場所	テーマ
第22回	2024/05/28	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第23回	2024/11/19	七宗町	みんなでぬりかえ、未来へつなぐ安心の橋～プロジェクト1184～（小学生による高欄のペンキ塗り）
第24回	2024/12/02	愛工大	大学講座／施設維持管理論 「インフラ施設の維持管理と実務」
第25回	2025/01/31	名古屋	インフラの包括的な維持管理に関する自治体視線セミナー～地域インフラ群再生戦略マネジメント（群マネ）の普及に向けて～
第26回	2025/02/14	大野町	令和6年度 インフラメンテナンス市区村長会議 中部ブロック会議
第27回	2025/05/27	名城大	大学講座／施設維持管理論「橋梁の維持管理と実務」
第28回	2025/11/05	七宗町	守り抜いてきた伝統の橋を未来に繋ごう～プロジェクト1184～（小学生による高欄のペンキ塗り）
第29回	2025/12/09	愛工大	大学講座／施設維持管理論 「インフラ施設の維持管理と実務」